

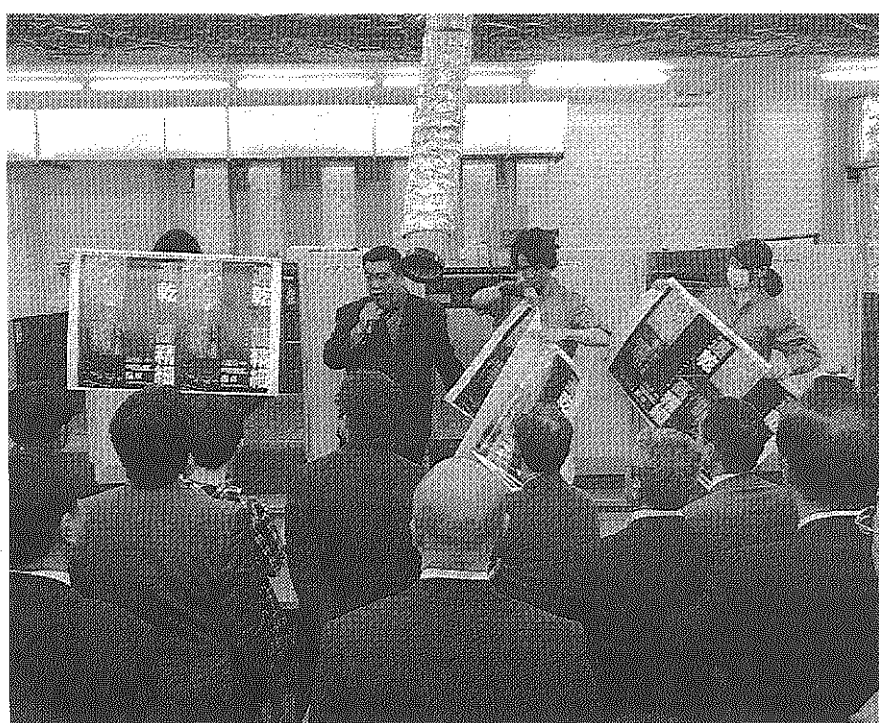
# アグファ福岡でAzura速乾印刷の軽

## 加藤隆行氏を講師に

### 3分間乾燥印刷法で

日本アグファ・ゲバルト(東京都品川区大崎1-6-1)代表取締役社長松石浩行氏は、速乾印刷の実演をホテルニューオータニ博多で、株式会社東京テックプラス(埼玉県朝霞市岡1-20-5)の代表取締役加藤隆行氏を講師に招き、速乾印刷セミナーを開催した。セミナー終了後は株式会社トータルブルー(福岡県福岡市南区清水4-6-3)代表取締役河瀬待希子氏が、速乾印刷の実演を行った。当日は九州地区の印刷会社を中心に約90名が参加、刷ったばかりの印刷物が瞬時に乾いていく様子を驚きと興奮を持って見つめていた。

セミナーに先立ちアグファの松石社長は「加藤社長にコンサルティンクをお願いして、印刷が劇的に変わった会社が何社もあります。経営者の方にも現場の方にも必ず有益なセミナーとなりま



速乾印刷の実演に参加者の関心が集まった

「加藤社長にコンサルティンクをお願いして、印刷が劇的に変わった会社が何社もあります。経営者の方にも現場の方にも必ず有益なセミナーとなりま

てアグファグラフィックスのアツアパシフィックの代表責任者であるティム・ヴァンデンボッシュ氏より「今日はこのような大勢のお客様にお会いできて光栄に思います。アグファはアグファと共にお客様に常に一歩先を歩いて頂きたい。Stav Ahead. With Agfa.」というスローガンを掲げ、今後もオフセット印刷技術が業界の主流であることに変わりはないと考へ、現在2つのテクノロジに力を入れて開発投資をしています。一つはAzuraTSを始めとするプレートの技術、そして2つ目はワークフローの自動化です。九州は日本の中で経済的・技術的にも影響力のある土地だと聞きました。AzuraTSも九州で多くのお客様に導入していただいています。アグファはこれからも九州を重要な拠点として、フルのサポートをお約束します。世界でも住みやすい都市の一つと言われている福岡において是非アグファ製品をご活用いただいで、皆様にもっとと発展していただく事を期待

しています」と挨拶し、この後、株式会社東東京テックプラスの加藤社長による「速乾と汚れない印刷を目指し」と題した講演が行われた。セミナーでは、小ロット化による売り上げ減、資材の高騰、短納期・低価格化、育たぬ人材といった印刷業界が現在抱えている問題の解決策として、速乾印刷が有効であること紹介した。速乾印刷を行うためには印刷機

のメンテナンスが何よりも重要であり、印刷機のメンテナンスを日に行うことで、①整備にかかるコスト削減、②印刷機の寿命を延ばす、③品質が安定、④マシンの現状把握、⑤社員のモチベーションアップに繋がるということを力説。真のリス

トとは、慣習を撤廃することであり、適正濃度の印刷、ローラー調整、湿し水の管理をコツコツと頼ることと説明した。

となくきちんと数値に基づき行えば、適正濃度で印刷でき、インキを盛り過ぎることなく、速乾印刷が実現できると解説。そして速乾印刷による短納期化が受注拡大、残業削減、収益アップを生み出し、現場力向上に繋がり、現場力の向上で生産性向上(再構築)を行い、無駄を排除していく事で、昭和の印刷から平成の印刷へ進化して行かなければならないと説明した。

数を上げ最高速1方6千回転で運転。最高速印刷後20分ほどで断裁を実施し、裏付きの無い事を証明した。続いてスーパーユポ紙にて白地の一切無い絵柄の印刷を行った。1方1千回転での印刷ながら印刷後3分程度で乾燥具合を参加者に確認した後、15分後には参加者への配布を行った。

めに加藤社長のわずかな指導と印刷機のメンテナンスで速乾印刷を実現できたという事実を引き込まれていった。

全日本印刷工業組合の策定(M&Aの研究)にも取り組んでいく。印刷産業ビジョン研究室から衣替えの印刷産業推進室(橋本唱市委員長)では、印刷関連産業と連携を強化し、将来の印刷関連

## 速乾実演をプレートで印刷20分後に断裁へ

セミナーの中では、AzuraTSは現象レスを実現するために採用された先進の砂目構造により水を絞ることができ、水を絞れる事により網目がくっきりと美しくなり、同じインキでも艶が出る、乾燥促進にも貢献するといった効果が得られることにも触れた。参加者達はオフセット印刷の原点に戻り、日頃のメンテナンスと水を絞ることの重要性に改めて気づかされ、非常に熱心にセミナーに聞

き入っていた。セミナー終了後は「速乾印刷の実演」のため株式会社トータルブルーへ移動。プラットフォーム・製版室を見学した後、印刷実演が行われた。株式会社トータルブルーは1991年に創業、2011年10月にアグファ・AzuraTSを導入し、現像レスプレートのメンテナンスをインキ坪を触ることなく印刷をスタート。刷り出しから10枚定らずで色

の指導により速乾印刷を実現することができました。創業当初から品質にこだわり続けて来ましたが、速乾印刷の実現により更なる飛躍を遂げたトータルブルーをこれからの印刷実演会で見ていただきたい」と挨拶した。

実演会では最初にコート紙100kgで重目の絵柄ポスターをインキ坪を触ることなく印刷をスタート。刷り出しから10枚定らずで色をアップさせていく。CSRとは、企業の社

平成24年度では、三役会直轄の産業戦略デザイン室、印刷産業推進推進室、MUD事業推進委員会の3つを設置する。通常委員会は経営革新・マーケティング委員会、環境・労務委員会、組織活性化委員会、教育・研修委員会、教育・専門委員会、専門委員会、専門委員会としてCSR推進専門委員会を新設する。同委員会では、中小印刷業界のCSR規格を策定し、認定制度を立ち上げるとともに、その周知啓発を図り、CSR活動でブランド力をアップさせていく。

平成23年度における業態変革推進企画室ならびに広報専門委員会を廃止し、教育・労務委員会は名称変更し、通常委員会に移行した。協議会は、官公需対策協議会、全国青年印刷人協議会、全国印刷メディア協議会の3つで平成23年度と変更はない。

全印工連の理事會に先立ち、全日本印刷産業政治連盟(全印政連、浅野健会長)の第15回定時総会が開催された。役員改選で森永伸博氏(東印工組副理事長)が選任された。西井雄雄副会長の開会挨拶の後、今野敦之常任幹事を議長に選出され、議事に入った。平成23年度事業報告及び

## 全印工連・新年度事業承認

### CSR推進専門委を新設 三役直轄の3委員室設置

全日本印刷工業組合連合会(全印工連、水上光啓会長)は4月24日の理事會で平成24年度事業計画の骨子を承認した。

平成24年度では、三役会直轄の産業戦略デザイン室、印刷産業推進推進室、MUD事業推進委員会の3つを設置する。通常委員会は経営革新・マーケティング委員会、環境・労務委員会、組織活性化委員会、教育・研修委員会、教育・専門委員会、専門委員会としてCSR推進専門委員会を新設する。同委員会では、中小印刷業界のCSR規格を策定し、認定制度を立ち上げるとともに、その周知啓発を図り、CSR活動でブランド力をアップさせていく。CSRとは、企業の社

## 全日本印刷

### 会長に

全印工連の理事會に先立ち、全日本印刷産業政治連盟(全印政連、浅野健会長)の第15回定時総会が開催された。役員改選で森永伸博氏(東印工組副理事長)が選任された。西井雄雄副会長の開会挨拶の後、今野敦之常任幹事を議長に選出され、議事に入った。平成23年度事業報告及び